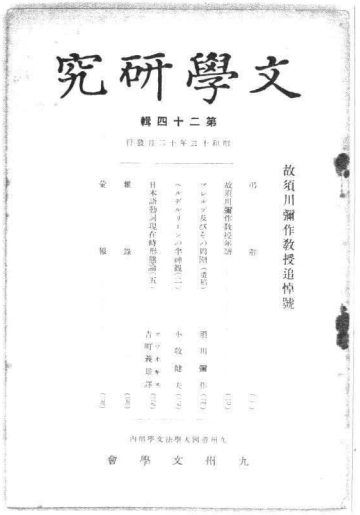
須川彌作（すがはやさく）フランス文學者。明治二十七年二月四日東京市麻布龍土町生れ、昭和十三年四月十四日歿（一八九四―一九三八）。東京帝國大學文學部卒。陸軍大學教授、浦和高等學校教授を經て、九州帝國大學教授となる。論文「佛蘭西の若きハイカイの詩人」（昭和六年二月一日刊『能古』第三年第二號所載）の他、孰れも中村義男共編教科用書『ザディグ・カンディド抄』（昭和十年二月二十日白水社）、『小泉八雲文集』（昭和十三年三月五日白水社）等を出版。また『文學研究』第二十四輯（昭和十三年十二月二十八日九州文學會）の〈故須川彌作教授追悼號〉には、講義ノートをもとにした遺稿「マレルブ及びその周圍」を收載。


文學研究

第二十四輯

昭和十三年十二月發行

故須川彌作教授追悼號

弔辭 (一)

故須川彌作教授年譜 (三)

マレルブ及びその周圍（遺稿） 須川彌作 (五)

ヘルダルリーンの半神觀（二） 小牧健夫 (三)

日本語動詞現在時形態論（五） アマオモス 古町義雄譯 (三)

雜錄 (四)

彙報 (五)

九州帝國大學法文學部內

九州文學會